



鉛濃度 基準値を超す

「鉛濃度 水道水3カ所で基準超す
甲府市内集会施設の検査で分かる」

人体に有害な鉛が水道水に溶け出す恐れがある鉛製の水道管(鉛管)を使っている甲府市内の集会施設のうち、六カ所の水道水を水道局が検査したところ、三カ所で鉛の濃度が国の基準値を上回った。水道局は「人体に影響が及ぶレベルではない」

鉛濃度3カ所で基準超す

市内集会施設の水道検査

人体に有害な鉛が水道水に溶け出す恐れがある鉛製の水道管(鉛管)を使っている甲府市内の集会施設のうち、六カ所の水道水を水道局が検査したところ、三カ所で鉛の濃度が国の基準値を上回った。水道局は「人体に影響が及ぶレベルではない」とするが、甲府市や旧敷島町、昭和町など水道局給水区域内の住宅や施設にかつて約七万三千件設置された鉛管のうち、今も約四万件が残っていて、水道局では配水管工事などに合わせて交換を進めている。

認めていない。

水道局が、合併前の甲府市内自治会などの集会所や公会堂二百五十四カ所で調べたところ、百四十一カ所で鉛管の使用が判明。六カ所で水道水の鉛濃度を検査したところ、三カ所で厚労省の定められた鉛の水道水質基準一

鉛管は、公道に埋設した配水管から宅地内などに水を引く目的で敷設された。近年、健康への影響が指摘され、水道局でも十五年前から設置を

最大で〇・〇一五ppmを超過するものも確認された。旧中道町の集会施設四十三カ所も調べたが、鉛管の使用は確認されなかった。旧上九一色村を除く市内の学校施設四十一校では十三校で鉛管が使われていたが、いずれも

基準値を下回った。鉛管は個人所有のため事業者の水道局に交換

不燃物回収 〇28日Vガレキ 新相屋、富士川V資源物朝日



フレット陳列用の設置す一R大月駅

山梨県の代理店さんが新聞を送ってくれました。今回は鉛について調べてみたいと思います。

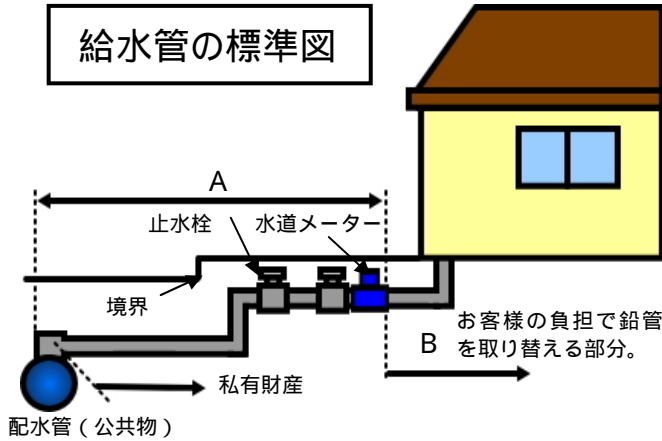
水道管の鉛は加工し易く錆びにくいという理由で昭和初期から使われてきました。



まだ多く残る 鉛の水道管

とするが、甲府市や旧敷島町、昭和町など水道局給水区域内の住宅や施設にかつて約七万三千件設置された鉛管のうち、今も約四万件が残っていて、水道局では配水管工事などに合わせて交換を進めている。

給水管の標準図



【埼玉県W市の例】

配水管から取り出した給水管は、お客様の財産です。しかし、取り出し部分から量水器(水道メーター)までの鉛製給水管(A部分)については、今後所有者の皆様のご承諾を得ながら、市役所水道課で計画的な取替え工事を行っていきます。したがって、量水器から蛇口(B部分)までの一部で鉛管を使用しているお宅では、建替えなどの際に、お客様の費用で他の材質のものに取り替えることをご検討ください。

しかし、溶け出した鉛(溶解性鉛)が神経毒性や特に子供の脳の成長を著しく阻害する恐れがあることがわかってからは、1987年に使用制限処置がとられています。(現在では使用禁止になっています。)

それでも、水道管の鉛は2001年の調査では、全国の世帯数の約1/5にあたる852万世帯で使用されていたことがわかっています。

各自自治体は、厚生労働省の呼びかけに応じて交換を進めています。敷地の中の配管工事は、基本的にその世帯の負担になるために、なかなか思うように進みません。

2005年の調査でも、全国で547万世帯、14,000kmの鉛製水道管が残っています。全部の交換が終わるには、まだ20~30年かかるでしょう。